

令和7年4月17日

◎西内委員長 ただいまから、産業振興土木委員会を開会いたします。

(9時57分開会)

◎西内委員長 本日の委員会は、昨日に引き続いて「令和7年度業務概要について」であります。

御報告いたします。15日の委員会において、細木委員からスポーツ課に対する質疑の中で依頼をしておりました資料と、坂本委員からスポーツツーリズム課に対する質疑の中で依頼をしておりました資料の提出がありましたので、御手元に配付しております。

#### 〈建築指導課〉

◎西内委員長 それでは、建築指導課を行います。

(執行部の説明)

◎西内委員長 質疑を行います。

◎坂本委員 応急危険度判定士が判定対象とするのは木造建築物だけですか。鉄筋等を含めた高層建築物なども対象にしていますか。

◎菊池建築指導課長 全ての建築物を対象としております。

◎坂本委員 第5期計画の中では目標を達成したということですけれども、登録されている方たちが現実的に稼働できるかどうかという問題があると思います。例えば、稼働割合というのは大体従前の震災を見たときに、登録された判定士で何割ぐらいが稼働しているかとか、そんなことを高知県で置き直してみたときに、これで大丈夫とか、もっと必要とか、そこら辺は計画との関係でどうなんでしょうか。

◎菊池建築指導課長 本県の登録者数は1,273人ですけれども、そのうち50%近くが60歳以上であります。それと68%が高知市とか中央に固まっていますので、実際に高齢者の方が震災後に動けるかどうかは把握できていません。そこで今年からは、もう少し実働できる方を絞っていく計画であります。

◎坂本委員 過去の被災地での稼働率との関係でいうとどうなんでしょうか。

◎菊池建築指導課長 過去の稼働率の割合からいくと、半分ぐらいだと想定しておりますので、600名ぐらいが動けるのではないかと思っております。

◎坂本委員 何年後に地震が発生するか分かりませんので、先ほど言われた高齢化している状況でいうと、登録者数を増やしていく形で取り組んでいただきたいと思います。

◎細木委員 緊急輸送道路に面した建物の耐震改修についての話がありましたけれども、大体県内にどれぐらい総数があって、改修などの進捗率ですよね。

◎菊池建築指導課長 防災拠点を結ぶ輸送道路の沿道に建っている建築物で、対象になっているものが290棟ぐらいあります。進捗率は、現在、耐震改修工事が終わっているものが46.6%になっております。

◎細木委員 以前もそういう計画まで立てておって、やっぱり資金繰り的にようやらんというような事例も聞いているんですけども、大きな建物が多いので、改修するにしても、いろんな費用があるので大変だという想定はできますけれども、そういうことも含めて今課題になっていることがあれば教えてください。

◎菊池建築指導課長 課題となっていることとしましては、やはり建物が大きくなればなるほど耐震改修工事費も上がります。所有者が5分の1持ち出さないといけなくて、5分の4までは国費、県費の補助が出るんですけども、工事費が上がるとその5分の1の金額が上がっていきことでちゅうちょされる方が多いことです。

◎細木委員 どうしたらいいでしょうね。

◎菊池建築指導課長 持ち出しをなるべく少なくするようにするか、行ってはいるんですけどもあまり効果がない状態ですので、もう少し戸別訪問などをして啓発を強めていきたいと思っております。

◎細木委員 半分ぐらい出来ているということですけれども、重要な緊急輸送道路は寸断されたら大変なことになりますので、国に対しても持ち出し分のことについては、何らか対応できるように求めていっていただきたいと思います。

◎菊池建築指導課長 国も、資材の高騰などに合わせて限度額のアップをしていただいたばかりですので、対応はしていただいているところであります。

◎今城委員 関連です。建築物耐震対策緊急促進事業費補助金です。去年は4,900万円程度で、今年は4,500万円程度で、下がっているんですよね。要求額は8,000万円ぐらいしちょって、4,500万円ぐらいになっているんですけども、やはり需要がないんですかね。

◎菊池建築指導課長 予算書で要望額が8,000万円ということですが、県費の補助について、建築指導課が対象のものと、危機管理・防災課が持っている防災拠点の補助金があり、危機管理・防災課が持っている防災拠点の補助のほうに移った分だけ減っているということになっております。

◎今城委員 新規の耐震改修促進計画改定基礎調査委託料ですけれども、これはどういうふうに改定をするんですか。

◎菊池建築指導課長 9年間たって第2期計画が終わりますので、今回は第3期計画を立てるものになっています。その間に防災拠点間の道路、バイパスが出来たり、市町村庁舎が移転したり、大分ルートが変わっていますので、その面する建築物の調査。そして能登地震などのことも考えて、目標設定を考え直す計画になっております。

◎西内委員長 質疑を終わります。

以上で、建築指導課を終わります。

#### 〈建築課〉

◎西内委員長 次に、建築課を行います。

(執行部の説明)

◎西内委員長 質疑を行います。

◎土居委員 県有施設管理費の県有建築物の維持修繕に要する経費は、建物の工事をしたりするときに、建築課が発注することになるんですか。例えば清掃業務などは別やないですか。その辺、どういう理由でさび分けをされているんですか。

◎田村建築課長 いわゆる修繕費になっておりまして、清掃費などはそれぞれの施設で対応してもらうことになっています。例えば屋根の防水改修であったり、照明設備、空調の更新といったものが対象となります。

◎土居委員 清掃なんかは、どこが発注しているんですか。

◎田村建築課長 例えば県庁の本庁舎でいいますと、管財課など管理している部門が発注することになります。

◎土居委員 出先は。

◎田村建築課長 清掃業などは、それぞれの出先機関が役務費等で対応していると思っております。

◎土居委員 出先機関って、施設にいろいろ入っちゃうやないですか。福祉も、建築も、農業も、いろいろあるじゃないですか。それぞれのセクションで発注しているんですか。

◎大野土木部副部長 例えば出先の合同庁舎に施設管理者を決めています。例えば幡多の庁舎であれば、土木事務所が庁舎管理者ですので、幡多土木で土木政策課経由の予算を使いまして庁舎管理の清掃業務は発注しています。

◎土居委員 そしたら総合庁舎でそれぞれ発注する元が、土木事務所であったり、福祉であったりで分かれているということですか。

◎梅森土木部副部長（総括） 安芸総合庁舎に関しましては、福祉保健所を所管している健康政策部がやっております。土木事務所が入っている総合庁舎は、土木部がやっております。須崎も第1、第2がありまして、土木事務所が入っている庁舎は、土木部が管理をしております。施設によって県税事務所を所管する総務部がやっているところもあります。

◎西内委員長 あんまり建築課から離れんようにお願いします。

◎土居委員 分かりました。所管外のことになってしまって申し訳ないですが、承知しました。

◎細木委員 今年度の県有建築物の建物のことで紹介があったんですけども、2番目の東部地域多機能支援施設整備事業は、どんな設計か教えていただけますか。

◎田村建築課長 東部地域多機能支援施設整備事業につきましては、安芸市所有の建物を借り上げて、改修工事をした上で看護師養成所を含めた施設に整備する計画になっております。

◎金岡委員 県有建築物の設計部分を工事管理ということでやっています。建築物の詳細

について各部局に聞くと、分からぬことが多いことが多いわけですよね。細かいところまでは無理なんですが、大ざっぱなところはきっちと説明できるように、意思の疎通を図っていただいたらと思いますけれども、いかがでしょうか。

◎田村建築課長 そういういた施設の管理者等は、修繕計画を出してもらった上で、修繕の箇所付けを行っております。その修繕計画のときに、施設の概要等を整理して、情報共有するようにしております。

◎金岡委員 修繕だけじゃなくて新築の部分も、例えば教育委員会が発注してるものについてお聞きしたら分からぬということで、建築課へ聞いてくれみたいな。それはちょっと変な話だという気もするんで。専門的な詳細までは駄目だとしても、大ざっぱなところはきっちと各部局が把握できるようにしておいてほしいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎西内委員長 質疑を終わります。

以上で、建築課を終わります。

#### 〈港湾振興課〉

◎西内委員長 次に、港湾振興課を行います。

(執行部の説明)

◎西内委員長 質疑を行います。

◎今城委員 宿毛湾港の企業立地促進事業費補助金です。まだ3区画残っているので予算計上すべきと思うんですけども、ゼロなんです。見込みがないのでゼロなんですか。

◎大窪港湾振興課長 資料2ページで、企業誘致の予算が昨年度に比べまして、6,000万円余り減っている状況があるかと思いますけれども、こちらにつきましては高知新港に立地した企業と、宿毛湾港に立地したサンライズファームへの立地促進の補助金の支払いが、令和6年度で完了したことによって、大幅な減額になっているということです。額自体は少ないですけれども、誘致の活動はしっかりと行っていくということです。

◎今城委員 企業の立地が決まってから予算計上していくんですか。分かりました。

それと、コンテナ利用促進ですけれども、2024年問題で陸送から船便へということで、去年、国内の会社で1つ航路が出来たみたいなんですけれども、国内の動き的にはどうですか。

◎村上港湾振興監 鈴与については、委員おっしゃるとおり、昨年度から内航のコンテナ船が、不定期ではありますけれども今来ている状況です。そういう意味では、やはりトラックドライバーの不足であったり、働き方改革というところがありますので、国内全体でも少しずつ、瀬戸内側であれば例えばフェリーといったものも見直されており、本県としましてもそういう内航コンテナなどといったモーダルシフトに対応したコンテナ船の誘致等をしっかりと行ってまいりたいと考えております。

◎今城委員 2024年問題を受けて、陸送から船便へという動き 자체はあんまりないんですか。

◎村上港湾振興監 先ほど申しました内航コンテナ船が新たに就航しているということもありますし、そういう動きが徐々に出てくるのではないかと考えています。

◎今城委員 大型客船ですけれども、高知港への寄港が100回近くになる要因はどういうふうに分析されていますか。

◎大窪港湾振興課長 近年、クルーズの市場そのものが拡大をしてきている状況があります。その中でも、やはり日本が観光地として非常に人気が高い状況がありまして、日本へのクルーズ船の寄港回数が増えています。その中で、四国に寄港したクルーズ船の中でも、約半数は本県に寄港していただいている状況があり、これは太平洋側に開かれた立地面での優位性もあろうかと思います。また、コロナ禍の間にはクルーズ船は止まっておったんですけれども、その間にもオンラインで商談会を実施するなど、粘り強く船会社に対して営業活動を実施してきたことなどもあって、寄港回数の増につながったのではないかと考えているところです。

◎今城委員 宿毛は6回から5回と思ったほど伸びない。宿毛の課題って何でしょうね。

◎大窪港湾振興課長 令和5年度から宿毛にも入るようになっていまして、これから増えていくように、宿毛も含めてしっかり営業活動を行ってまいりたいと考えております。

◎今城委員 何か対処できることがあったら、地域でも取り組まないかんと思いますので、そのあたりしっかりとよろしくお願ひします。

◎西内委員長 質疑を終わります。

以上で、港湾振興課を終わります。

#### 〈港湾・海岸課〉

◎西内委員長 次に、港湾・海岸課を行います。

(執行部の説明)

◎西内委員長 質疑を行います。

◎坂本委員 去年からいろいろと予算との関係で見ていて、いわゆる特定利用港湾に指定合意をしたことによる予算への反映というのが分かりにくいくらいですね。三重防護の関係でいうと国直轄事業費負担金が増えているかどうかで見たりもするんですけども、それほど大きくないというか。結局、去年の4月段階で国が特定利用港湾に指定したところに対して、これだけの事業費を予算化しましたということを公にしましたよね。それで言うと、本県は28億円だったんですよ。じゃあ、その28億円がどういうふうに予算の中に反映されたのかが分からぬし、なかなか県としてもそこら辺を十分に説明されているようにも思わないんですが、分かるように教えていただけませんか。

◎岡本港湾・海岸課長 特定利用港湾に関する予算につきましては、国からは特定利用港

湾の予算という防衛省の予算ではなく、国土交通省の予算で配分されておる形になっています。その整備としましては、国直轄港湾での整備事業の防波堤の延伸であったり、粘り強い化に対する予算の配分となっております。それに関しては、昨年度は対前年度比でいきますと約1.2倍ぐらいの配分があり、今年度につきましては約1.1倍の配分があったということで、その辺りが少し配慮されているというふうに、個人としては認識しておるところです。

◎坂本委員 先ほどの事業の説明の中で、いわゆる国直轄事業の整備促進費で、港湾事業費負担金と港湾海岸事業費負担金がそれに当たるという捉え方でよろしいですか。

◎岡本港湾・海岸課長 港湾海岸ではなく、港湾整備のほうです。海岸事業ではなく、港湾整備で配分されている状況です。

◎坂本委員 それと、部長が説明していただいた資料5ページの当初予算のポイントの（2）「命をつなぐ」対策の中に、防災拠点港（須崎港）の岸壁耐震化があります。去年は予算化されていなくて、今年は当初予算で1億1,000万円ついているわけですけれども、これもその1つと見ていいんでしょうか。

◎岡本港湾・海岸課長 須崎港の岸壁耐震化につきましては、特定利用港湾とは少し切り離されていまして、須崎港で耐震を有する岸壁がなく、県の防災拠点港となっていますので、整備をするものです。

◎土居委員 港湾施設照明のLED化の予算は、どこに入っているんでしょうか。

◎岡本港湾・海岸課長 港湾施設の照明のLED化につきましては、脱炭素化推進事業債を活用しまして、令和6年度と今年度の2か年でLED化を進めていこうとするもので、港湾施設維持管理費の中に含まれています。

◎土居委員 今年度2億300万円で、昨年から言うたら倍増ですけれども、今年度はどちらをやる予定ですか。

◎岡本港湾・海岸課長 昨年度は、重要港湾3港で少しLED化の照明化を進めました。今年度は残る県内19港で、重要港湾も少し残っています。港湾19港のうち照明がない港も1港ありますので、残り18港で進めていこうと考えております。

◎土居委員 発注は港ごとですか。それとも一括でしょうか。

◎岡本港湾・海岸課長 発注形態につきましては、それぞれの土木事務所での発注になると考えられます。そのため事務所ごとに予算を配分して、大きいものもあるし、小さいものもあるかと想定しているところです。

◎土居委員 コストの削減やCO2の削減は、本県が進める政策に貢献していくということですけれども、トータルでどのくらいのコスト削減効果を見込んでいますか。

◎岡本港湾・海岸課長 LED化にすることによって、長寿命化も図れるということもあります。ちょっと今手元に数値がございません。申し訳ございません。

◎土居委員 後でもいいですよ。

◎細木委員 陸閘の整備について、せっかく造っちゃった陸閘をコンクリートで固めるというのは、津波や高潮のときなどに逃げ遅れやせんかと思うんですけども、どういった判断でせっかく造っちゃった陸閘をコンクリートで固めて使えなくするのか。判断の基準や、どういった要望でこういう事業が発生しているのか教えてください。

◎岡本港湾・海岸課長 陸閘閉鎖につきましては、東日本大震災のときに陸閘の閉鎖に従事された方が津波の被害に遭って、尊い命を犠牲にされたことがあります。県内の海岸線にも陸閘が多数あります。極力、ふだん使われていて開いている状況の陸閘を閉鎖する作業を少しでも減らせないかということを考えて、現時点であまり利用頻度が高くなないものについては、地元利用者との調整の上、閉鎖していこうという方針で進めております。

◎細木委員 港湾美化対策事業費につきまして、以前に寺内副委員長が、港の中に廃船であるとか、使われてない船があるという質問をしましたよね。そういうことがあって、僕も市内の港を見に行つたんですけども、やはり沈みかかっている船とか、明らかに使われていない船というのは結構あるんだなと改めて感じたんですけども、そうした船の撤去にこの事業費を活用されているんでしょうか。

◎岡本港湾・海岸課長 そのとおりです。各港に、利用者が不明であったり、沈みかけた、もしくは沈んでいる船もあります。所有者の分かっている船につきましては、粘り強く所有者へ引き上げてくださいという交渉をしています。一方、所有者が分からぬ船につきましては、船体自体にいつまでにのけてくださいという告示を貼った上で、それでも分からなかつたら簡易代執行という制度もありますので、そちらで撤去していくという方法です。その処理につきましては、漁協や県水産振興部、それから海上保安部の力も借りて、啓発活動であったり、どういうふうに進めていこうかというような協議を進めているところです。

◎細木委員 どうしても分からんものは撤去するしかないで、今後そういう船が増えないようにさらに啓発をするとか。何か罰則みたいなものはあるんですか。

◎岡本港湾・海岸課長 増やさない対策の特効薬はすぐには思い浮かびませんが、各土木事務所に巡回員がいます。その方に港の各地区を巡回してもらって、変わりがないかとか、船が増えてないかというところを点検しており、その状況については把握しています。

◎細木委員 これ以上増えないように対策もしながら港湾管理をしていただきたいと思います。

◎岡本港湾・海岸課長 土居委員から質問のありました削減効果につきまして、CO<sub>2</sub>の排出量で年間216トン、電気代で2,100万円前後の削減効果があると考えております。

◎坂本委員 特定利用港湾の関係で、先ほどは港湾整備のほうに充てられているというこ

とで、2ページの一覧表でいくと、2港湾の整備のうち2-2港湾改修費になるんでしょうか。

◎岡本港湾・海岸課長 特定利用港湾のことでしたら、1-1港湾事業負担金です。

◎坂本委員 さっき私それで、国直轄事業の整備促進の1-1と、1-3になるんですかいうて聞いたら。その中の1-1、そういう意味ですか。

◎岡本港湾・海岸課長 そのとおりです。

◎坂本委員 いずれにしても、詳しくお聞きしたいと思いますんで、また後ほどでも教えていただけるように、よろしくお願いします。

◎西内委員長 質疑を終わります。

以上で、港湾・海岸課を終わります。

これで、土木部を終わります。

以上で、全ての日程を終了いたしました。

なお、5月8日からは出先機関等の業務概要調査が始まります。8日は、幡多方面への出張となりますので、乗車駅、乗車時間等、お間違のないよう、ご注意下さい。

これで委員会を閉会します。

(10時59分閉会)